

# 第 28 回第二言語習得研究会 (JASLA) 全国大会 プログラム (お茶の水女子大学)

■ 2017 年 12 月 16 日(土) (共通講義棟 2 号館 201 教室他) ■

12:30～ 受付 (共通講義棟 2 号館 2 階 階段上)

13:00～ 開会式 (共通講義棟 2 号館 201 教室)

司会 西川朋美 (お茶の水女子大学)

開会宣言 鎌田 修 (第二言語習得研究会 会長)

開催校挨拶 室伏 きみ子 (お茶の水女子大学 学長)

13:15～16:45 ≪パネルディスカッション≫ (共通講義棟 2 号館 201 教室)

## 第二言語学習者の情意面から言語学習を捉える

コーディネーター：石澤 徹 (東京外国語大学)

外国語学習不安とコミュニケーションへの意欲の相互作用

—英語リスニング不安の妨害的効果と WTC の変動を中心に—

野呂 徳治 (弘前大学)

第二言語学習における自己調整学習を促す

—日本語学習者の学びのプロセスに焦点をあてて—

佐藤 礼子 (東京工業大学)

学習者はどのようなときに外国語を意欲的に学ぶのか

—コミュニケーションな授業における学習環境を自己決定理論から考える—

藤原 三枝子 (甲南大学)

16:45～17:00 総会・事務局からの連絡

17:15～19:00 ≪懇親会≫ (大学食堂)

■2017年12月17日(日)(共通講義棟2号館101教室・102教室他)■

9:10～ 受付 (共通講義棟2号館2階階段上)

9:40～11:10 ≪口頭発表1≫ (共通講義棟2号館101教室)

司会: 小山 悟 (九州大学)

9:40～10:10 社会文化理論と認知言語学の融和を目指して

—アスペクトマーカ―「～ている」の実践例—

増田 恭子 (ジョージア工科大学) ・ 太田 エイミー (ワシントン大学)

辻原 理絵 (ワシントン大学大学院生)

10:10～10:40 気づかせ方の違いは学習に異なる影響を与えるか

—タスクと明示的説明の有無を操作した実験的検討—

黒田 亮子 (国際交流基金)

10:40～11:10 中国語を母語とする上級日本語学習者の相づち使用

—機能における母語の影響の考察を中心に—

朱 秋奇 (東北大学大学院生) ・ 堀田 智子 (東北大学)

菅谷 奈津恵 (東北大学)

9:40～11:10 ≪口頭発表2≫ (共通講義棟2号館102教室)

司会: 岩下 真澄 (活水女子大学)

9:40～10:10 ベトナム人日本語学習者による日本語の名詞アクセントの知覚

グエン ティ フェン チャン (大阪大学大学院生)

10:10～10:40 習熟度別に見た漢字圏日本語学習者のワーキングメモリと読解能力の相関

吉川 達 (佐賀大学) ・ 蔡 穎心 (香港中文大学)

10:40～11:10 中国人日本語学習者を対象とした字順の異なる日中漢字語の認知処理 —日本語母語話者との比較から—

早川 杏子 (関西学院大学)

11:10～12:00 幹事会（共通講義棟 1号館 102 教室）

11:15～13:00 《ポスター発表》（共通講義棟 1号館 203・204・205 教室）

担当：向山 陽子（武蔵野大学）

第1会場（203 教室）

- (1) ホームページ作成を目標としたプロジェクト型外国語学習  
—会話能力向上を目指したスカイプ交流—  
加藤 富美江（ノースカロライナ州立大学シャーロット校）  
スプリング, ライアン（東北大学）  
森 千加香（ノースカロライナ州立大学シャーロット校）
- (2) 漢字の書字的認知処理 —非漢字圏と漢字圏の日本語学習者の比較—  
大和 祐子（大阪大学）・玉岡 賀津雄（名古屋大学）
- (3) 中国人日本語学習者による「日中同義」と「日中異義」のコロケーションの習得 —CA 法と ME 法の比較を中心に—  
姚 新宇（東北大学大学院生）・菅谷 奈津恵（東北大学）
- (4) 日本語学習者による「じゃないですか」類の使用傾向  
—縦断・横断のデータから—  
劉 昭希（首都大学東京大学院生）
- (5) ライティング訂正フィードバックの効果と情意的要因との関連について  
—文末スタイルに着目して—  
唐 姣姣（お茶の水女子大学大学院生）

第2会場（204 教室）

- (6) 日本語の意見文における「主張」の位置と表現について  
—YNU 書き言葉コーパスを用いた分析—  
楊 明翰（東北大学大学院生）・菅谷 奈津恵（東北大学）

- (7) 学習者のナラティブにおける「この/その+名詞句」の使用  
猪股 来未 (麗澤大学大学院生)
- (8) タスクの認知的複雑さがタスクの成果物の質に与える影響  
—因果的推論の有無と既有知識の多寡を操作して—  
濱田 典子 (広島大学大学院生/国際交流基金)

第3会場 (205 教室)

- (9) 学習者の「教室内不安の作用」に関するビリーフ  
會田 篤敬 (横浜国立大学大学院生)
- (10) 中国人上級日本語学習者における日本語文の聴覚的認知  
—文の構造と作動記憶を操作した実験的検討—  
柳本 大地 (広島大学)・徐 暢 (広島大学大学院生)
- (11) 課題による発音産出への影響  
—日本語長音の場合を例に (予備調査の結果) —  
コウ キヘイ (上智大学大学院生)

12:00~13:00 運営委員会 (共通講義棟 1号館 302 教室)

12:10~13:10 基調講演者・パネリストミーティング (共通講義棟 1号館 101 教室)

**\*\*\* 12:30~13:30 昼 休 み \*\*\***

(昼休みの間も、ポスターは引き続き展示されます)

13:30~15:00 <基調講演> (共通講義棟 2号館 201 教室)

司会：澤崎宏一 (静岡県立大学)

**脳から見た第二言語習得**

**自然な言語習得法への試論**

酒井邦嘉 (東京大学)

15:00～15:05 第29回全国大会のお知らせ 中島 祥子（鹿児島大学）

15:20～16:20 ≪口頭発表3≫（共通講義棟2号館 101教室）

司会：石澤 徹（東京外国語大学）

15:20～15:50 トルコ語を母語とする日本語学習者による日本語名詞修飾節の習得  
—日本滞在期間の観点から—

岡山 涼（名古屋大学大学院生）

15:50～16:20 日本語の連体修飾構造における「の」の過剰使用と脱落  
—韓国人・中国人日本語学習者の容認性判断課題の結果から—  
鈴木 一徳（東京工業大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

山下 順子（広島大学大学院生）

15:20～16:20 ≪口頭発表4≫（共通講義棟2号館 102教室）

司会：杉本 巧（広島国際大学）

15:20～15:50 話し手の顔情報に影響された際に現れる発話理解の特徴  
—「口頭説明を受ける」タスクの分析結果を通して—

呉 佳穎（首都大学東京）

15:50～16:20 テキスト書き換えが日本語学習者の内容理解に与える影響

和氣 圭子（神田外語大学）

16:20～16:30 閉会式（共通講義棟2号館 101教室）

司会：小山 悟（九州大学）

参加費：学生3,000円・一般4,000円

（予稿集・ジャーナル代を含む：事前申込不要）

## ●お茶の水女子大学案内・周辺地図

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

### 東京メトロ丸ノ内線

「茗荷谷」駅より徒歩7分

### 東京メトロ有楽町線

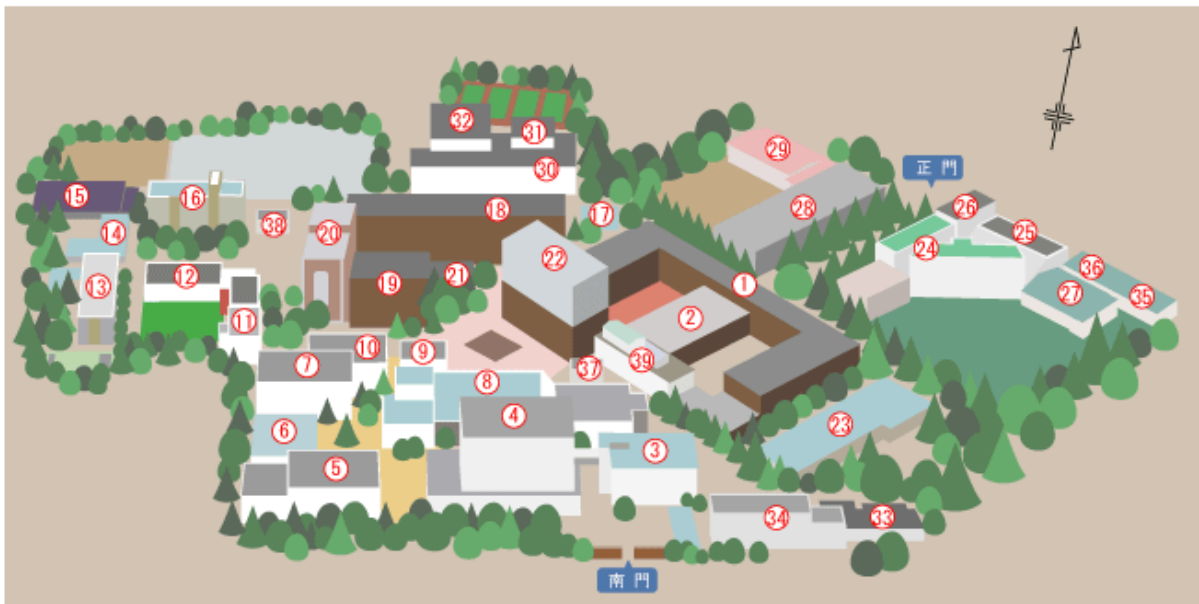
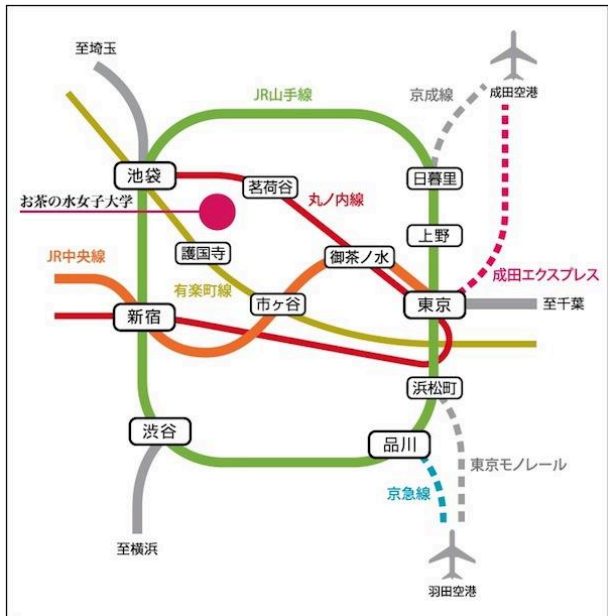
「護国寺」駅より徒歩8分

### 都営バス

「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分

### 会場までのアクセスについての注意

土日は南門は閉門していますので、**正門**からお越してください。正門へは、丸の内線**茗荷谷駅**のほうが便利です。



詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/help/accessmap.html>

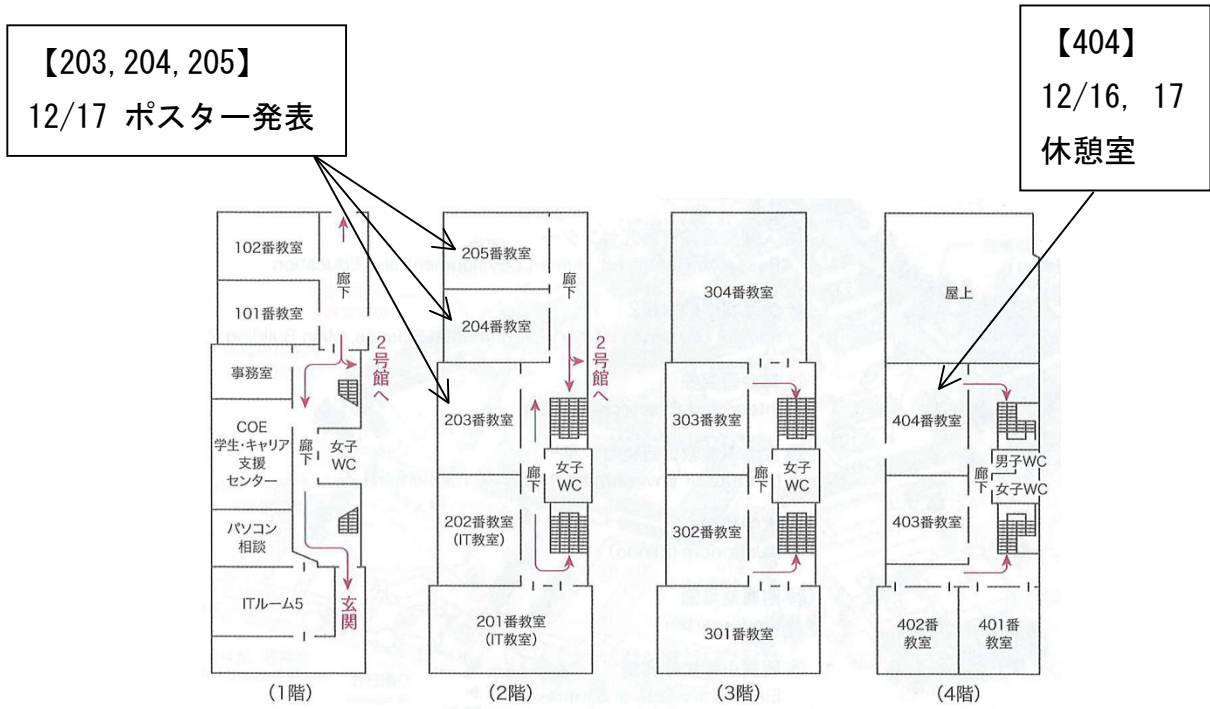
### 【会場】

共通講義棟1号館（地図上の⑤）：ポスター発表

共通講義棟2号館（地図上の⑥）：受付・開会式・パネルディスカッション  
基調講演・口頭発表

大学食堂（地図上の⑩）：懇親会

## 共通講義棟 1号館



## 共通講義棟 2号館

